

## 平成30年度 施設評価の概要

### 総合評価の概要

➤ 平成26年度に施設評価を行った施設を中心に、利用用途別分類が集会施設、スポーツ施設、医療保健福祉施設、学校教育児童福祉施設の一部の99施設及び「平成30年度までにあり方を検討」の評価となった利用用途分類がスポーツ施設1施設(宮崎市内山体育館)の合計100施設が対象となっており、何らかの見直しの評価となったのは38施設でした。

#### ■「総合評価」の総括表(網掛け部分が見直しの結果)

		機能の評価					建物評価 合計
		廃止	移転	統合・集約	改善	あり方を検討 (再評価)	
建物の 評価	処分 (廃止・売却・譲渡等)	1	1	2			4
	改修・更新				3	3	6
	あり方を検討 (再評価)	見直しの評価 38施設				24	24
	継続				4	62	66
機能評価 合計		1	1	2	7	24	100

#### ■「総合評価」が見直しとなった主な施設

総合評価		主な施設
建物の評価	機能の評価	
処分 (廃止・売却・譲渡等)	廃止	宮崎市内山体育館
	移転	宮崎市内山農村研修センター(旧高岡配食サービスセンター)
	統合・集約	宮崎市生目児童館、宮崎市跡江老人いこいの家
改修・更新	改善	宮崎市清武総合福祉センター、宮崎市佐土原地域福祉センター、小戸保育所
	継続	宮崎市大島児童館、宮崎市平和が丘児童センター、宮崎市憶児童センター
あり方を検討 (再評価)	あり方を検討 (再評価)	宮崎市清武文化会館、宮崎市農業団地センター、宮崎市さどわら民俗芸能館、宮崎市高岡トレーニングセンター、練土館(練土館道場)、宮崎市東高岡体育館、宮崎市清武保健センター、児童プール15施設、宮崎市清武地域子育て支援センター、宮崎市きよたけ児童文化センター

### 市民からの意見聴取

➤ 平成31年2月22日に公表した施設評価(案)(総合評価、今後の経営の方向性)に対して市民の皆さんのご意見を収集。

#### ■結果の概要

募集の方法	「総合評価」に対するご意見	「今後の経営の方向性」に対するご意見
パブリックコメント	○回答数(意見数) 1件(4件。うち不明3件) ○主な意見と市の回答 ➤ 宮崎市広原児童プールの1施設について意見がありました。 ➤ 原案を支持する意見のほか、幼稚園児や保育園児の貴重な水遊びの場となっていることから、 <u>施設の存続を求める意見</u> がありました。 ➤ すべての施設を将来にわたって保有することが困難なことから、修正せずに原案どおりとし、いただいた意見は今後の施設経営や「あり方を検討」する際の参考とします。	○回答数(意見数) 2件(4件。うち不明2件) ○主な意見と市の回答 ➤ 4分類の「今後の経営の方向性」のうち、回答の対象となる意見があったのは、2分類(集会施設・学校教育児童福祉施設)でした。 ➤ 原案を支持する意見のほか、 <u>使用料の適正化に関する意見</u> や <u>施設の存続を求める意見</u> がありました。 ➤ すべての施設を将来にわたって保有することが困難なことから、修正せずに今後の施設経営の参考とします。
施設利用者のアンケート	○回答数(意見数) 36件(41件。うち不明5件) ○主な意見と市の回答 ➤ 22施設のうち、回答の対象となる意見があったのは7施設でした。 ➤ <u>施設の有効活用や老朽化施設の改修や更新に関するご意見</u> のほか、 <u>アンケートの実施方法に関するご意見</u> がありました。 ➤ すべての施設を将来にわたって保有することが困難なことから、修正せずに原案どおりとし、いただいた意見は今後の施設経営の参考とします。	○回答数(意見数) 2件(2件) ○主な意見と市の回答 ➤ 4分類の「今後の経営の方向性」のうち、回答の対象となる意見があったのは1分類(学校教育児童福祉施設)でした。 ➤ <u>施設の改修等に関する意見</u> のほか、 <u>今後の具体的な方針や計画に関する意見</u> などがありました。 ➤ すべての施設を将来にわたって保有することが困難なことから、修正せずに今後の施設経営の参考とします。

### 総合評価の決定

➤ パブリックコメント、施設利用者のアンケートの結果を踏まえ、修正せずに原案どおり決定。また、いただいたご意見は今後の施設経営、「あり方を検討」する際の参考とする。

### 今後の対応

- 総合評価が見直しになった施設については各課と連携し、丁寧に対応しながら進める。
- 継続して保有する施設は、「今後の経営の方向性」に基づいて経営適正化計画を作成し、適正な施設経営に取り組む。
- 建物を処分する施設は、公有地調整委員会において、具体的な処分の方法を検討する。